

令和5年度第1回
伊丹市使用料手数料等審議会会議録（要旨）

1. 日時 令和5年6月1日（木） 午後2時から午後3時40分
2. 場所 伊丹市総合教育センター 2階 講座室
3. 出欠者等（出席）
 - 伊藤委員、今山委員、大西委員、黒瀬委員、毛海委員、新屋敷委員、和田委員（50音順）
 - （欠席）
 - 藤原委員
 - （事務局）
 - 森脇自動車運送事業管理者、浜名次長、松山参与、唐澤総務課長、立花総務係長、岡本財務係長
 - （傍聴）
 - 2名
4. 次第
 - (1) 開会
 - (2) 委嘱状交付
 - (3) 市長あいさつ
 - (4) 委員・事務局紹介
 - (5) 会長選出（会長あいさつ）
 - (6) 副会長選出
 - (7) 諮問「伊丹市交通事業の健全な運営を図るための経営のあり方」
 - (8) 議題
 - ①議事録署名委員の指名
 - ②「伊丹市使用料手数料等審議会傍聴要領（案）」と会議の公開について
 - ③交通事業の現状について
 - ④審議会の諮問内容について
 - ⑤小委員会の設置について
 - (9) 次回審議会等の連絡
 - (10) 閉会

議題

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 市長あいさつ

・今後、高齢化・過疎化が進んでおり、公共交通が減少していくことが考えられる。特に自らの移動手段を持たない高齢者など移動制約者にとって必要不可欠な公共交通の確保は重要である。

・団塊の世代が高齢者となり、自動車事故や免許証の返納者も増えるなか、公共交通サービスの低下は避けたい。

・私が市長に就任した当時から、市民の移動手段をどう確保するか考えてきた。高齢化が進めば、鉄道駅から離れた地域の市民は困ることになる。これからの時代、市民の移動手段の確保を図るうえで、市バスは市民生活にとって重要な役割が期待されている。

・市バス事業はコロナ禍において、原油価格などの価格高騰を受け、経営的にも厳しい状況にある。コロナが収まっても、利用者が戻らない恐れもあり、いまだ予断を許さない状況にある。

・市民に安定してサービスを提供するためには、運賃を見直す必要があると考えた。

・私としては、自動運転や電気バス等の導入にも取組みながら市バス事業を進めていきたい。

4. 委員・事務局紹介

(委員と職員が自己紹介を行う)

5. 会長選出・会長あいさつ

事務局案として、会長に毛海千佳子委員を推薦。毛海千佳子委員を会長選任することについて委員全員が了承。

○会長あいさつ

・伊丹市は、市営バスを保有していることが大きな特徴である。市営バスを保有している数少ない自治体の一つ。市バスは長きにわたり伊丹市民のモビリティを支えてきた。

・市バスは、市のまちづくりの指針である都市計画マスタープランの「快適な移動環境の創出」「歩いて暮らせる都市」の実現のために大きな役割を担っている。このように市の施策と一体となり公共交通としての役割を担ってきた。

・一方で、長期的な人口構造の変化、公共交通の利用者減少、ドライバー不足問題、2020年からのコロナによる移動制限、世界情勢を受けた物価高騰、原油高など、公共交通を取り巻く経営環境がより厳しくなっている。今後の市バスの持続可能な経営には、運賃見直

しも避けられない議論である。

・市バスは、今後どのような施策をとるべきか、皆様からの多角的かつ忌憚のないご意見を踏まえ議論を尽くし、今後の方向性をつくっていきたいと考えている。委員の皆さまにご協力願いたい。

6. 副会長選出

会長より和田委員が指名され、選出された。

○副会長あいさつ

・神戸市、尼崎市で公共交通の審議委員を担っている。以前、民営化という流れがあった中で、欧州では交通インフラは市民生活に欠かせない位置づけとなっている。

・伊丹市が公営バスを保有していることは、今後の強みになるのではと考えている。

・伊丹市は全域、平坦であり、暮らしやすい地形となっている。長い目で見て、長期経営ができるような議論ができればと思う。

7. 諮問

○「伊丹市交通事業の健全な運営を図るための経営のあり方について」について

(藤原市長より毛海会長へ諮問書を示す)

8. 議題

① 議事録署名委員の指名

・議事録に署名する委員 2 名について、会長より伊藤委員・大西委員が指名され、選出された。

② 「伊丹市使用料手数料等審議会傍聴要領（案）」と会議の公開について

・会議の公開に関して、非公開情報を取扱う場合等、特段の場合を除いては、基本的に公開のもとで開催する。

・傍聴の定めについて、会議を原則公開とし、会議の内容に伊丹市情報公開条例第 7 条各号に掲げる情報が含まれる場合は非公開とする。

・傍聴人への資料配付について、非公開情報を除き傍聴者に次第と資料を配布する。

・会議録について、伊丹市審議会等の会議の公開に関する指針第 5 条 2 項各号に基づき、会議要旨のみを記録して公開する。 【配布資料 1】

【会長】

・今回の審議会は同指針に基づき、原則公開となっている。事務局から説明のあった傍聴要領案について、ご質問等がなければ了承頂いたということによいか。

〈全員「異議なし」の声確認〉

【会長】

・それでは傍聴要領に基づき、傍聴希望者があれば入場を許可する。

〈傍聴者 2 名入室・着席〉

③ 交通事業の現状について

・事務局より「交通事業の概要、沿革、組織」、「輸送人員の推移、収支状況」、「伊丹市交通事業第 4 次アクションプラン（概要版）」について説明。 【配布資料 2 及び 3】

【委員】

・運賃値上げについて、大人料金 2 1 0 円から 2 3 0 円に値上げを検討とのことではあるが、子供料金はどのように考えているのか。

【事務局】

・小児運賃は大人運賃の半額となっている。仮に 2 3 0 円とした場合、1 1 5 円となるが 1 0 円未満の端数は 1 0 円単位に切り上げ、1 2 0 円となる。

【委員】

・今まで市バスが頑張って運行してきたことは理解できる。物価高騰の影響を受け、バス運賃を値上げしなくても大丈夫かなと思ったこともある。

・市外在住者も市バスを利用されることがあると思う。京都では多数の観光客が公共交通を利用されている。もっと市バスを利用者した、市内の観光巡り等を PR（発信）すべきでないか。

【会長】

・市（交通局）として、観光のための市バス活用の取組みはどのようなものがあるか。

【事務局】

・観光バスは保有していないが、例えば、伊丹まちなかバル主催者と連携し、年 2 回、市バス割引乗車券付きチケットを販売し、バス利用の促進を図っている。

【会長】

・伊丹市には観光施策への期待もある。運賃値上げの議論だけでなく、市と連携した市バスを活用した観光促進についても、この場で議論出来れば良いのではないか。

【委員】

・交通事業経営戦略の中で「経営変化に応じた人材確保」とある。2 0 2 4 年にはバス運転者の労働時間等が改善されるが、今後、事業者として運行計画等についてはどのように考えているのか。また、将来的には自動運転バスの導入はじめ、さらなる安全・安心・快適なサービスが必要と考えているが、交通局としてどのように考えているのか。

【事務局】

・大型 2 種免許の取得率が低下するなか、市バス乗務員の平均年齢も 5 0 歳を超え高

齢化が進んでいる。一方、新規採用の雇用条件については、現行の労働条件等をもとに採用募集している。現在のところ一定の人員を確保できているが、今後は免許保有者の高齢化に伴い、深刻な人材不足が懸念される。他事業所でも同様に人材不足の事象が起きるか想定している。

・いたみバスナビのデータを活用し、各路線を分析し効率的な路線編成が可能となった。これまでは、職員の経験値によりダイヤ編成を行っていたが、バスナビデータ分析により、より効率的なダイヤを編成し、人員配置の効率化にも努めていきたい。

【会長】

・労働条件の規制等によるコストの検証も必要でないか。いたみバスナビ導入によるデータ分析と効率的な経営も必要と考える。

【委員】

・運賃の見直しは仕方がないことと理解している。産業界の視点では、市内各所で大きな事業所（住友電工など）が北部に所在している。運賃値上げを実施しておきながら、一方で減便することになれば、事業所に大きな影響が出る。通勤のみならず、通学にも影響がでないよう検討してもらいたい。

【副会長】

・神戸市では、バス停に営業係数が掲示されている（100円稼ぐのに必要なコスト）。交通局だけが頑張るのではなく、住民の皆さんに市バスを応援してもらう仕組みがあれば良いと思う。

・1日どれくらいの人が乗れば、採算が合って、上手く経営できるのか、経営状況を知ってもらうことで「週に1回でも、市バスを使って応援しようか」という気が起こり、利用促進にもつながると思う。市民の気持ちを巻き込む仕組みを考えても良いのではないか。

【会長】

・貴重な他市の事例である。市民になぜ、運賃値上げの必要があるのかをお知らせすることも重要である。理解を得るためにどういった施策が必要なのか、あわせて考える必要がある。

④ 審議会の諮問内容について

・事務局より審議する内容について説明。

審議事項①「持続可能な事業運営に向けた経営改善について」、審議事項②「適正な受益者負担（利用者負担）のあり方について」、審議事項③「利用者サービスの向上について」

【配布資料4】

⑤ 小委員会の設置について

【事務局】

・今回の審議について、専門的な見地から集中的に審議いただくため、本審議会とは別に「小委員会」を設置し、答申に向けて協議頂きたいと考えている。小委員会における審議内容等については全体会にて報告・承認を頂き、進めたいと考えている。また、構成委員についても会長の指名に一任したい。

【会長】

・事務局提案について、審議内容を精査しながら、迅速に審議会を進めることが可能になると考えるが委員の意見はいかがか。

〈全員「異議なし」の声確認〉

【会長】

・では、答申案については小委員会で集約し、全体会で皆さんの了承を得る形で進めていく。委員についても会長に一任されているので、「和田副会長」「新屋敷委員」にお願いしたいが委員の意見はいかがか。

〈全員「異議なし」の声確認〉

9. 次回審議会等の連絡

【事務局】

・第2回伊丹市使用料手数料等審議会（全体会）を7月13日（木）午後2時に、伊丹市交通局にて開催。

10. 閉会

（午後3時40分閉会）

署名

第1回 伊丹市使用料手数料等審議会議事録として確認します。

委員 伊藤 忠徳

委員 大西 竹英